

平成28年度 基盤研究（S） 審査結果の所見

研究課題名	海洋GNSSブイを用いた津波観測の高機能化と海底地殻変動連続観測への挑戦
研究代表者	加藤 照之（東京大学・地震研究所・教授） ※平成28年6月末現在
研究期間	平成28年度～平成32年度
審査結果の所見	<p>本研究は、GNSS（衛星測位システム）ブイの高精度化・高機能化によって津波観測と海底地殻変動連続観測、さらには気象学や電離層研究への適用を図りつつ、津波防災に必要な総合的な技術の確立を目指すという意欲的な研究である。これまでの実績は国際的にも高い評価を受けており、学術的にも最先端の成果を発表している。研究目的は明解であり、研究計画もよく練られたものである。社会安全システムとして、実社会の防災・減災に直接関与できる実装面にも力点を置くことにより、十分な成果を上げられるものと期待できることから、基盤研究（S）として採択すべき課題であると判断した。</p>